

## 令和元年度補正予算(案)の概要 (令和元年6月定例会提出分)

### 1 総括

(単位:千円)

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	34,222,470	239,320	34,461,790
特別会計	29,527,790	—	29,527,790
公営企業会計	11,831,160	—	11,831,160
特別会計	17,696,630	—	17,696,630
総額	63,750,260	239,320	63,989,580

### 2 補正予算の主な内容

#### (1) 一般会計(第1号)

(単位:千円)

補正前の額	補正額	補正後の額
34,222,470	239,320	34,461,790

#### ① 歳入

(単位:千円)

款名	項目	補正額	備考
分担金及び負担金	被災市町村負担金	3,562	[民生費]平成30年7月豪雨被災地支援経費
国庫支出金	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金	13,640	[総務費]地域の魅力発信等向上事業費
	地方創生推進交付金	800	[総務費]わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金
	子ども・子育て支援事業費補助金	2,428	[民生費]子ども子育て支援システム改修経費
	社会資本整備総合交付金	16,000	[土木費]浸水対策事業費
	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	1,000	[教育費]発掘調査事業費
	地域文化財総合活用推進事業費補助金	2,402	[教育費]地域文化振興事業費
府支出金	移住支援事業補助金	400	[総務費]わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金
	埋蔵文化財発掘調査費等補助金	500	[教育費]発掘調査事業費
	災害に強い森づくり事業委託金	8,000	[農林水産業費]災害に強い森づくり事業費

(府支出金)	不登校支援等推進事業委託金	1,900	[教育費]不登校支援等推進事業費
繰入金	基金繰入金	598	文化・スポーツ振興基金
	財政調整積立金繰入金	33,864	
諸収入	雑入 (二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)	22,588	[教育費]緊急時電力確保設備整備事業費
	雑入 (〔独〕日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金)	60,138	[教育費]施設整備事業費
市債	土木債	28,800	[土木費]浸水対策事業費
	教育債	42,700	[教育費]緊急時電力確保設備整備事業費 [教育費]施設整備事業費
計		239,320	

## ② 歳出

(単位:千円)

款名	事務・事業名	補正額	備考	主な事務事業調
総務費	新規 地域の魅力発信等向上事業費	13,640	コミュニティFMの送信所に再生可能エネルギー施設を設置するとともに難聴エリア解消のための中継局設置に向けた実施設計	P1
	新規 わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金	1,600	東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対する補助	P2
民生費	新規 子ども子育て支援システム改修経費	2,428	10月からの幼児教育の無償化に対応するため、既存の市町村基幹業務支援システムを改修	
	新規 平成30年7月豪雨被災地支援経費	3,562	「災害時における旧軍港市相互応援に関する協定」に基づき、広島県呉市に対して支援を行う	
衛生費	拡大 「地域医療の充実」共同研究事業費	10,000	周産期医療の充実に係る府立医大との共同研究に関する委託料の増額	P3
		2,400	舞鶴医療センターが実施する母体胎児集中管理・監視システムの導入に対する補助	P4
農林水産業費	新規 災害に強い森づくり事業費	8,000	平成29年台風21号により被災した大山地区の森林及び溪流の整備	P5
商工費	拡大 企業誘致実現プロジェクト事業費	6,790	本市の地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、新規立地企業に対する補助	P6
	新規 東地区中心市街地複合施設安全対策事業費	7,000	施設の外壁材飛散防止のための応急対策と今後の安全対策調査を実施	P7
土木費	拡大 浸水対策事業費	48,000	内水による家屋等への浸水被害の軽減を図るため、排水ポンプ車を購入	P8

教育費	新規	不登校支援等推進事業費	1,900	教育支援センター(明日葉)の機能拡充と、府認定フリースクールで学ぶ不登校児童、生徒に対する教育支援	P9
	拡大	地域文化振興事業費	3,000	後世への継承のため、本市の祭礼「城屋の揚松明」の映像による記録保存	
	新規	発掘調査事業費	2,000	府営ほ場整備計画のある女布地区の遺跡試掘調査	
	新規	緊急時電力確保設備整備事業費	35,000	南公民館に太陽光発電及び蓄電池を設置し、照明のLED化と併せて避難施設の災害時における電力確保と省エネ化を図る	P10
	拡大	施設整備事業費	94,000	ウズベキスタン選手団事前合宿に伴う、文化公園体育館内のトイレ、更衣室、シャワー室の改修	P11
計			239,320		

### 3 令和元年度末の基金残高、市債残高の見込み

#### (1) 基金残高 (令和元年度末見込み額) (単位:千円)

区分	補正前見込み額	補正額	補正後見込み額
一般会計	※ 7,721,650	△ 34,462	7,687,188
特別会計	1,154,077	-	1,154,077
計	8,875,727	△ 34,462	8,841,265

※ 補正前見込み額は、当初予算額に平成30年度一般会計補正予算(第9号)の見込額を反映させたものです。

#### (2) 市債残高 (令和元年度末見込み額) (単位:千円)

区分	補正前見込み額	補正額	補正後見込み額
一般会計	※ 37,717,818	71,500	37,789,318
建設地方債	20,410,867	71,500	20,482,367
臨時財政対策債等	17,306,951	-	17,306,951
特別会計	36,490,595	-	36,490,595
計	74,208,413	71,500	74,279,913

※ 当初予算の市債残高見込額に、平成30年度債の借入額等を反映させたものです。

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	地域の魅力発信等向上事業					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	13,640 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>本市の魅力や防災情報等を市内外に発信しているコミュニティFM（FMまいづる）の送信所である五老ヶ岳公園に再生可能エネルギー施設を設置する。</p> <p>これによって、五老スカイタワーや隣接施設に電力を供給するとともに、再生可能エネルギーの利用を可視化できるデジタルサイネージの設置や、ライトアップイベント、FM放送を行うことで、再生可能エネルギー導入への理解を促進し、次世代に向けた社会基盤を整備し「環境価値を創造するまち」としての情報を発信する。</p> <p>同時に、現在の難聴エリアを解消し、その地域を訪れる観光客や住民にも同様の理解を促すと共に、災害等の発生時の情報伝達手段としての機能の重層化も図るもの。</p>
	<p><b>【事業スケジュール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度・・・導入可能性調査・基本設計</li> <li>令和元年度・・・再生可能エネルギー施設導入およびFMまいづるの中継局設置にかかる詳細設計</li> <li>令和2年度・・・上記施設の設置工事</li> </ul>

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	13,640	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(10/10)	13
府支出金	-		
地方債	-		
その他	-		
一般財源	-		

担当課	広報広聴	課	課長名	三輪 紀子	内線番号	1316
-----	------	---	-----	-------	------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,600 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人材不足の解消を目的として、東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対して支援を行う。</p>
事業の内容	<p><b>【対象者】</b>                  東京圏から舞鶴市へ移住・転入後3ヶ月以上1年以内でかつ就業後3ヶ月以上の者                  ※東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県</p> <p><b>【補助額】</b>                  ◆単身で移住 60万円                  ◆世帯で移住 100万円                  (負担内訳：国1/2・府1/4・市1/4)</p> <p><b>【募集件数】</b>                  ◆単身で移住 1件                  ◆世帯で移住 1件</p>

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	800	地方創生推進交付金(1/2)	13
府支出金	400	移住支援事業補助金(1/4)	15
地方債	-		
その他	-		
一般財源	400		

担当課	移住・定住促進課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	----------	-----	-------	------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	「地域医療の充実」共同研究事業				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	10,000 千円			予 算 書	31 頁
				事業区分	新規・ <b>拡大</b> ・継続

事業の目的	<p>京都府立医科大学と本市で、府北部地域における周産期医療の充実に向けた共同研究を行い、安心して子どもを産み・育てることができる医療環境の実現を目指すもの。</p>			
	事業の内容	<p><b>【事業概要】</b>                  京都府立医科大学と本市による共同研究                  (テーマ) 京都府北部地域における周産期医療の充実に向けて                  (目的) 安心して子どもを産み・育てられる医療環境の実現を目指し、人口減少、過疎化、少子高齢化など共通の課題を有する府北部地域における「周産期医療のあり方(方向性)」や、その中で、周産期サブセンターとして、医療の中核を担う舞鶴医療センターの「目指すべき機能」について、中長期的な視点にたち、大学と共同でロードマップを作成し、その実現に向けた取り組みにより、地域医療の充実を図るもの。                  ※当初予算においては、研究補助者に係る人件費及び研究材料費等の一般的経費の計上であったが、京都府立医科大学附属北部医療センター(府北部の研究拠点施設)並びに舞鶴医療センター(平成31年4月から、産婦人科の体制が拡充)の協力のもと、地域の重要課題である本研究テーマに取り組むこととなり、その研究体制及び研究内容に応じた必要な経費を補正するもの。</p>		
内容		<p><b>【委託先】</b> 京都府立医科大学</p>		
	<p><b>【委託費】</b> 13,000千円(当初予算額3,000千円、今回補正額10,000千円)</p>			
財源内訳	<p>※共同研究… 京都府立医科大学が民間機関等(地方公共団体を含む)から研究経費等を受け入れ、共同で研究実施(成果物は共有)、大学は研究遂行上必要がある場合には医師等を民間機関等の施設において研究させることができる。</p>			
	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 ( 補 助 率 等 )	
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
そ の 他	-			
一 般 財 源	10,000			
担当課	地域医療	課	課長名	松本 真俊
			内線番号	2467

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	「選択と集中、分担と連携」推進事業費補助				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	2,400 千円			予 算 書	31 頁
				事業区分	新規・拡大・ <b>継続</b>

本市においては、地域の医療を持続し充実させるため、従来から、市域はもとより府北部地域における医療の中核となり得る分野に着目し、公的病院への支援を行い、「選択と集中、分担と連携」による医療の推進に努めてきたところである。

この度の、舞鶴医療センターが進める周産期医療分野に係る医療機器整備に対し支援を行うことにより、「周産期サブセンター」としての機能の更なる充実が図られ、府北部地域において、安心して子どもを産み・育てられる医療環境の実現を目指すもの。

■事業主体 舞鶴医療センター

■事業内容 母体胎児集中管理・監視システム導入支援

■事業の主旨  
舞鶴医療センターの産婦人科では、平成31年4月から専門医が常時2名勤務する体制となり、「周産期サブセンター」としての機能の更なる充実が図られていくことになる。その充実に資する事業として、同センターが取り組みを進める医療機器整備に対して支援を行い、府北部地域において、安心して子どもを産み・育てられる医療環境の実現を目指すもの。

■補助率 1 / 3

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 ( 補 助 率 等 )	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,400		

担当課	地域医療	課	課長名	松本 真俊	内線 番号	2467
-----	------	---	-----	-------	----------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	災害に強い森づくり事業				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	8,000 千円			予 算 書	33 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	平成29年10月の台風21号災害により荒廃した森林及び溪流において、土砂、流木等の流出による再度被害を防止するため治山施設の設置を行う。		
	事業の内容		
事業の内容	○災害に強い森づくり事業 8,000千円 規模の大きな治山事業について府の委託事業により、治山施設を設置し荒廃した森林及び溪流の整備を実施する。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工箇所（1箇所） 大山地区 流末整備工 1式 森林整備 1式</li> </ul>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	8,000	災害に強い森づくり事業委託金	17
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農 林 課	課長名	坂根 久喜	内線番号	1240
-----	-------	-----	-------	------	------



# 令和元年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業				
費目	款	商工費	項	商工費	目 商工振興費
事業費	6,790 千円			予 算 書	35 頁
				事業区分	新規・ <b>拡大</b> ・継続

事業の目的	本市の地域経済の活性化と雇用の拡大を図るため、市内雇用を伴った新規立地を行う事業者を積極的に支援する。																		
	<p>働く場の創出企業立地促進補助 6,790千円                  (企業立地補助金 3,790千円)                  (働く場の創出補助金 3,000千円)</p>																		
事業の内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業者名</th> <th rowspan="2">立地場所</th> <th rowspan="2">投下固定資産額</th> <th rowspan="2">新規地元雇用者数</th> <th colspan="2">支援額 (補正予算額)</th> </tr> <tr> <th>企業立地補助</th> <th>働く場の創出補助</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株)YASAI</td> <td>舞鶴市字地頭523-2 (旧岡田上小学校)</td> <td>126,429千円</td> <td>5人</td> <td>(投下固定資産額×3%) 3,790千円</td> <td>(新規雇用者数×600千円) 3,000千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業者名	立地場所	投下固定資産額	新規地元雇用者数	支援額 (補正予算額)		企業立地補助	働く場の創出補助	(株)YASAI	舞鶴市字地頭523-2 (旧岡田上小学校)	126,429千円	5人	(投下固定資産額×3%) 3,790千円	(新規雇用者数×600千円) 3,000千円
	事業者名	立地場所	投下固定資産額	新規地元雇用者数	支援額 (補正予算額)														
企業立地補助					働く場の創出補助														
(株)YASAI	舞鶴市字地頭523-2 (旧岡田上小学校)	126,429千円	5人	(投下固定資産額×3%) 3,790千円	(新規雇用者数×600千円) 3,000千円														
<p>【株式会社YASAI】                  (本社所在地) 福岡県朝倉市甘木1754番地5                  (代表者) 代表取締役 瓜生 茂広                  (事業内容) 人工光型植物工場における野菜の生産・出荷販売</p>																			
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)		予算書														
	国支出金	-																	
	府支出金	-																	
	地方債	-																	
	その他	-																	
一般財源		6,790																	
担当課 産業創造・雇用促進 課			課長名	松岡 幸治	内線番号 1212														

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	東地区中心市街地複合施設安全対策事業					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	7,000 千円			予算書	35 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>東地区中心市街地複合施設（旧マイコム）について、施設の外壁材にクラックが発生していることなどから、応急的な安全対策を実施するとともに、今後の安全対策を検討するため、施設状況調査を行う。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策（ネット設置）</li> <li>・外壁等の状況調査</li> </ul>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	7,000		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	浸水対策事業				
費目	款	土木費	項	河川費	目 河川総務費
事業費	48,000 千円			予算書	37 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	内水による家屋等への浸水被害の軽減や、道路冠水による通行規制の早期解除を図るため、排水ポンプ車を購入し、安心・安全なまちづくりを推進する。			
	事業の内容	○排水ポンプ車購入 1台 排水能力30 m <sup>3</sup> /分 (ポンプ6台) バルーン照明付		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	16,000	社会資本整備総合交付金(1/3)	13
	府支出金	-		
	地方債	28,800	河川債	23
	その他	-		
一般財源		3,200		

担当課	土木課	課長名	大岡 正之	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	不登校支援等推進事業				
費目	款	教育費	項	教育総務費	目 事務局費
事業費	1,900 千円			予 算 書	39 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>不登校児童生徒の状況に応じて、学校生活への適応と社会的自立に向けた学習等の支援に取り組むことができるよう、教育支援センター（明日葉）の機能を拡充するとともに、府認定フリースクールとの連携を進める。</p>					
	<p>①教育支援センターにおける機能拡充                  支援員を配置し、教育支援センター（明日葉）に通う不登校児童生徒への学習支援、体験活動等を行うだけでなく、通うことが困難な不登校児童生徒に対しても、家庭訪問等による相談支援・アセスメント、学校への指導助言等を行い、不登校児童生徒への支援体制を強化。</p> <p>②教育委員会と民間団体との連携促進                  教育委員会と府認定フリースクール「聖母の小さな学校」との連携により、フリースクールで学ぶ不登校児童生徒に対して、支援員が学習支援、体験活動等を通じて、児童生徒の学習や進路等にかかる指導や相談・助言を行い、効果的・具体的な支援を促進。</p>					
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	-				
	府支出金	1,900	不登校支援等推進事業委託金	17		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	学校教育	課	課長名	森下 敏宏	内線 番号	2430

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	緊急時電力確保設備整備事業					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費
事業費	35,000 千円			予算書	41 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>災害の発生時に地域の中核的な避難施設である南公民館に対し最低限必要な電力を確保するため、再生可能エネルギーの設備を整備し、併せて平時の温室効果ガス排出量の削減のためLED照明を整備することにより、災害に強く環境への負荷の少ない施設整備を進める。</p>
事業の内容	<p><b>【対象施設】</b> 南公民館  <b>【整備内容】</b> 再エネ設備：太陽光発電設備（11.4kw）、蓄電池（22.4kwh）、省エネ設備：照明改修（LED照明）</p> <p>本施設に再生可能エネルギー等の設備を整備することにより、本市指定の自主避難所5ヶ所全てにおいて、災害時における最低限の電力確保が可能となる。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金			
	地方債	12,300	社会教育債	23
	その他	22,588	雑入(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)	21
	一般財源	112		

担当課	地域づくり支援 課	課長名	飯田 徹	内線番号	1225
-----	-----------	-----	------	------	------

# 令和元年度 主な事務事業調

No. 11

事業名	施設整備事業				
費目	款	教育費	項	保健体育費	目 体育館費
事業費	94,000 千円			予 算 書	43 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>文化公園体育館は、昭和61年の建設から30年以上経過し、トイレ、更衣室・シャワー設備とも老朽化している。施設整備により、東京五輪におけるウズベキスタンのレスリング・柔道競技のホストタウンとして、事前合宿を行う選手団に快適な練習環境を提供するとともに、体育館利用者の利便性の向上と施設の長寿命化を図る。</p>			
	事業の内容	<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○トイレの洋式化（全面改修）</li> <li>○更衣室・シャワー設備改修</li> </ul>		
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）
	国支出金			
	府支出金			
	地方債	30,400	保健体育債	23
	その他	60,138	雑入（スポーツ振興くじ助成金）	21
	一般財源	3,462		
担当課	スポーツ振興 課	課長名	岸本 淳子	内線番号 1224